



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
アルツハイマー病と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

健常者とアルツハイマー患者の脳脊髄液中の神経新生調節タンパク質の濃度測定

【研究責任者】

加納ふみ（東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター）

【本研究の目的及び意義】

健常者とアルツハイマー病患者の脳脊髄液中にある神経新生調節タンパク質量を検証する。
細胞レベルの実験で確認された神経新生調節タンパク質の量変動がアルツハイマー病患者脳脊髄液でも見られるかを確認し、病態バイオマーカーとしての実用性を検証する。

【本研究に提供する試料・情報】

髄液
年齢、性別、診断、症状評価

【研究期間】

2021年12月11日から2025年3月31日まで

2022年3月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)